フィリピン留学体験記

Philinter 語学学校（私費留学）

薬学部薬学科２年　亀井　瑞穂

留学先　フィリピン共和国
Philinter 語学学校

期間　2014 年 9 月～
2014 年 10 月（約 1 ヶ月）

動機　11 月にミャンマーで参加するプログラムで語学が必須だった。夏だし南国に行きたかった

お金

- 費用≫　航空券往復：約7万円
-
- 　生活費：約10万円/月（外食費、交際費、旅行費含む）
- 　授業料：約15万円（授業料、寮費、食費、洗濯費含む）
- レート≫1ペソ2.67円

≪一日のスケジュール≫

朝食	8：00～8：45	8：50～9：35	9：40～10：25	10：30～11：15	11：20～12：00	昼食	13：00～13：45
パン、お粥など	Grammar（Group）	Discussion（Group）	Discussion（Group）	Writing（1on1）	Listening（1on1）	基本韓国料理	自習
13：50～14:35	14：40～15:25	15：30～16:15	16：20～17:00	夕食	放課後		
Speaking（1on1）	Speaking（1on1）	Discussion	Speaking（1on1）	基本韓国料理	自習、遊びにいく		

≪留学前後のスケジュール≫

	留学前	留学中	留学後
スケジュール	2014 年 6 月上旬：夏休みどうしようかなと思う。 6 月中旬：フィリピンの語学学校に行くと決意。 6 月下旬：学校決定、航空券手配。		2014 年 11 月下旬：ミャンマーでのプログラムに参加。 【今ここ】 2015 年 3 月上旬：バングラディシュでのプログラムに参加予定。

【フィリピン留学おすすめ理由 BEST5！！】

No.1　安い

フィリピン留学がなぜ最近こんなに流行っているのか
それは欧米諸国と比べてすこぶる安く語学学校に通えるからです。
渡航費、1 か月間の授業料、生活費を含めて 20 万円と少し。
私は少し設備の良いところに通ったのでこの金額ですが、あと 5 万円は安い学校を探すことができます。航空券も 2 か月前と少し遅かったので、早めに計画を立てればもっと安く行けます(/・ω・)/

No.2　1on1 授業が多い

1on1 授業とは、マンツーマンレッスンのことです。
先生 1 人を 45 分間独り占めできます。私は Speaking を特に伸ばしたかったので、1on1 の先生はみんな Speaking 重視でやってくれました(‘ω’)このように自分の伸ばしたいところにフォーカスさせて勉強ができるのが最高。
しかもどんどん仲良くなるにつれ、フィリピン人目線のフィリピンの実態とかも教えてくれたり、おいしいレストランを紹介してもらって一緒に食べに行ったりできます＼(^o^)／あと仕事の愚痴とかも聞けて面白いです。

No.3　孤児院訪問

土日は授業がないので、孤児院にアポイントをとり訪問しました。
みんなでダンスをしたり、一緒にご飯を食べたりしました。
“アテ―”って呼んでくれてなにかなって思ったら現地語で“お姉ちゃん”って意味だと知ったときは泣いてしまいそうだった。

No.4　異文化体験楽しい

＜バロット＞
夕飯も終わり、少し自習したり、みんなでボールで遊んだりした後の午後 9 時。夜食としてベトナム人の友人とフィリピンのソウルフード（？）を毎晩食べに出歩いていました。その名もバロット。孵化直前のアヒルの卵をゆでたものです。これがとてもおいしい。日本人はなかなか気持ち悪がって食べていませんでした。もったいないです。みなさんもフィリピンに行ったときには是非挑戦してください。
【注意】露店で売っているのですが、お店によっては衛生状況が悪いところもあるので、きちんと周りの体験談（あそこのバロットはおなか壊すとか）を聞いてから、舌鼓を打ってください。

No.5　きれいになれる
＜バロット＞
上で述べたバロットはとても栄養価が高く、美容にいいとベトナムの友人が言っていました。(=゜ω゜)
＜ズンバ＞
学校の近くのモールで週に 2 回、ズンバ（ラテン音楽にのってダンスしながら痩せよう！というもの）が行われていて、そこに飛び入りで参加したりしていました。前で見本としてダンスをしてくれるのが､かのレイザーラモン H●のような恰好をした陽気な人でした。フィリピンではズンバが人気らしく、大きな施設に行くと週末の夕方はいつもズンバが行われています。フィリピンの方はみんな金曜日の夜から土日を命がけで楽しもうとしているので金曜日の夜は隣の広場でズンバを遅くまで大音量で踊ったりしています。
＜スパ＞
日本でスパに挑戦したことのない私ですが、フィリピンのスパは相当安くて（2 時間のストーンマッサージで 700 円弱！！）週 1 くらいで友達と行きました。

＜美容院＞
美容院に挑戦してみよう！と思って、とりあえずトリートメントしてもらい、髪を切ってもらい、ジェルネイルをしてもらいました。それで 1500 円くらい日本に帰ってきてジェルネイルを落とす方がお金がかかりました(゜Д゜)
仲良くなった美容師のお兄さんは、仲間から OKAMA と呼ばれていました。確かにおねえ感満載でした。

【フィリピン留学をするにあたってちょこっと考えたいこと】

＜トイレ＞
学校の中は外国人向けなので快適なのですが、一歩外に出たらトイレは過酷ですね。洋式の便器の上にまたがって用を足す文化があるので、便座の上が汚れていて座れません。そんなフィリピンの環境を楽しいと思えるサバイバル精神があると最高に楽しめる留学だと思います。
＜なまり＞
フィリピンでは教育のいくつかを小学校のころから英語で受けているため、みんなある程度の英語が話せます。しかし、日常会話は基本的に現地語なので母語ではなく、ネイティブレベルではありません。また、語学学校の先生といえども少しイントネーションになまりがある人も。そこが気になる人は英語圏の国へ留学したほうが満足いく留学になると思います。
＜学校の形式＞
フィリピンには数多くの語学学校があります。スパルタやセミスパルタなど形式を選ぶことができます。スパルタの学校は学校から多くの制約が課されますが、その分より英語を使う機会に浸ることができます。セミスパルタは学外の活動に使える時間が多く、フィリピンを楽しみながら英語を学ぶことができます。自身の目的にあった学校選びがカギとなるので学校選びには妥協しないようにするのがいいと思います|д゜)